吉田南子

Lv18

文

修

図

司

得意なこと

カウンタースマイル

カウンターで利用者と接すること。

© 2023 kidahami

no.008

文

なぜ大学図書館員になったのか

自分の大学生時代の卒論・修論執筆の際、大学図書館の ILL サービスにとてもお世話になり、自分も図書館員になってアカデミックの世界に貢献したいと考えたため。

得意な（好きな）仕事

人と接する仕事。利用者や同じ図書館の職員、他の図書館職員、図書館以外の部署の職員など、人と関わりながら一緒に仕事を進めていくことに喜びを感じます。

苦手な（嫌いな）仕事

特になし。

大学図書館で働く推しポイント

アカデミックの世界は、現在流通している技術や知識よりも一歩進んだ科学技術が生まれる場所で、未来の世界とも言えます。その世界を間近でみながら、自分の貢献によって、その世界の進むスピードが加速するとしたら、ステキなことだと思いませんか。

私が考える2050年の大学図書館

新しい本はほとんどが電子書籍。昔の本は紙しかないので、受取スポットに行って、本を受け取って利用する。図書館という場所はなく、学内にいくつか自習スポットが点在している。学習・研究支援は専門のスタッフが担当し、レファレンスサービスやライティングのフォローも可能。図書館職員は電子ジャーナルやデータベース、研究データの管理をしているらしいが、あまり見かけないので詳細は不明。

© 2023 kidahami

no.008